


Trinitron® Color Video Monitor

取扱説明書 2 ページ	_____	JP
Instructions for Use page 18	_____	GB
Mode d'emploi page 32	_____	FR
Gebrauchsanweisung selte 48	_____	DE
Manual de instrucciones página 64	_____	ES
Istruzioni per l'uso pagina 80	_____	IT
使用说明书 98 页	_____	CS

 **警告** 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Trinitron

PVM-14L2MD
PVM-20L2MD

目次

使用上のご注意 (モニターのパフォーマンスを保持するために) ...	7
磁気に対するご注意	7
ブラウン管について	7
クリーニングについて	7
ラックマウントについて	7
特長	7
接続	8
電源コードの取り付けかた	8
各部の名称と働き	9
操作パネル	9
後面パネル	10
メニュー表示言語の切り換え	11
メニューの操作方法	12
メニューを使った調整	13
項目一覧	13
調整と設定	13
設定状態メニュー	13
ホワイトバランスメニュー	14
プリセットメニュー	14
ユーザー設定 (1/2、2/2) メニュー	14
リモートメニュー	14
ユーザーサービスメニュー	15
故障かな?と思ったら	15
保証書とアフターサービス	15
保証書	15
アフターサービス	15
主な仕様	16
寸法図	i

この取扱説明書について

本書は、以下のカラービデオモニターに共通のもので
す。

- ・ PVM-14L2MD (14 インチモニター)
- ・ PVM-20L2MD (20 インチモニター)

上記機種で説明が異なる場合は、別々に説明してありま
すので該当する部分をお読みください。

本書のイラストは、特に表示のない場合すべて PVM-
14L2MD を使用しています。

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家
庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがありま
す。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求
されることがあります。

JP
日本語

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

	アメリカ合衆国	カナダ	ヨーロッパ諸国	日本
プラグ型名	HOSPITAL GRADE	HOSPITAL GRADE	LP-34A	VM1050
コネクタ型名	B41395	LL33182	LS-60	VM1010
コード型名	B41395-A	LL76662	H05VV-F	PVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/125V	10A/250V	12A/125V
コード長	Max. 4.5 m (177 1/4in.)	Max. 4.5 m (177 1/4in.)	-	-
安全規格	UL	CSA	VDE	電安法



下記の注意を守らないと、**火災**や**感電**で**大けが**につながる可能性があります。



火災



感電



分解禁止

キャビネットをはずさない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットや裏ぶたなどをはずしたり、改造したりすると、火災や感電の原因となります。内部の調整や設定、点検、修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因となります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続ケーブルを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。



指示

規定の電源電圧で使う

取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。

規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。



禁止

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。

この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。



指示

ラックマウント時は専用ブレーカーを取り付ける

ラックマウント時は前面より電源を切ることができません。設置の際は専用ブレーカーを取り付けて使用してください。



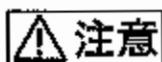
禁止

ラックマウントした機器を、2台以上同時に引き出さない

2台以上同時に引き出すと、機器の重みでラックが転倒し、けがの原因となります。

一度にラックから引き出すのは1台だけにしてください。

また、ラックが転倒・移動しないように適切な処置をとってください。



注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。



注意

接続の際は電源を切る

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。



注意

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



禁止

通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・ 壁から 10cm 以上離して設置する。
- ・ 密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・ 毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・ 布などで包まない。
- ・ あお向けや横倒し、逆さまにしない。



水ぬれ禁止

水のある場所に設置しない

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。



禁止

不安定な場所に設置しない

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、モニターが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。



禁止

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

真夏の、窓を閉め切った自動車内では 50℃を越えることがありますので、ご注意ください。



注意

モニターは、2人以上で開梱・運搬する

モニターは見た目より重量があります。開梱や運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず 2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。



注意

転倒、移動防止の処置をする

モニターをラックに取り付け・取りはずしをするときは、転倒・移動防止の処置をしないと、倒れたり、動いたりして、けがの原因となることがあります。安定した姿勢で注意深く作業してください。

また、ラックの設置状況、強度を充分にお確かめください。



禁止

モニターの上に乗らない、重いものを載せない

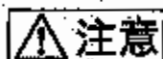
倒れたり、落ちたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。



プラグをコンセントから抜く

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の商品に損害を与えることがあります。



注意

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となる場合があります。



注意

定期的に内部の掃除を依頼する

長い間掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となる場合があります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。

特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。



注意

電源プラグは突きあたるまで差し込む

まっすぐに突きあたるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。



アース線を接続せよ

安全アースを接続する

安全アースを接続しないと、感電することがあります。

次の方法でアースを接続してください。
指定の電源コードから出ている緑色のアース線を建物に備えられているアース端子に接続してください。

安全アースを取りつけることができない場合は、ソニーのサービス担当者または営業担当者にご相談ください。

使用上のご注意 (モニターの性能を保持するために)

磁気に対するご注意

- ・磁気を発生するものを近づけないでください。画面が揺れたり、色が乱れたりすることがあります。
 - ・モニターの設定の向きによっては、画面が傾いたり、色が乱れることがあります。故障ではありません。このときは、一度電源を切り、再び電源を入れてください。自動消磁されます。または操作パネルの DEGAUSS (消磁) ボタンを押して消磁することもできます。
- ◆ DEGAUSS ボタンについて詳しくは、9 ページの **⑩ DEGAUSS ボタン** をご覧ください。

ブラウン管について

- ・柔らかいきれいな布で軽く拭いてください。手の油や指紋などは水で薄めた中性洗剤溶液を含ませた柔らかい布で拭いてください。
- ・表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。研磨剤を含むもの、アルカリ系洗剤、アルコールやベンジン、シンナーなどを含んだ溶剤は、表面を傷める原因になる恐れがありますのでご使用にならないでください。

クリーニングについて

- ・お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグを抜いてください。
- ・キャビネットの汚れがひどいときは、水で5～6倍に薄めた中性洗剤液に柔らかい布をひたし、かたくしぼってから汚れを拭きとります。このあと乾いた布で拭きしてください。
- ・シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

ラックマウントについて

ラックマウント時は、モニターの性能維持のため上下に1U空けて、通気孔の確保や通気ファンの設置を行ってください。

特長

画像

解像度

トリニトロン¹⁾管の採用により、中心部の解像度が600本以上の画像が得られます。

くし形フィルター

くし形フィルターの採用により、NTSC信号のクロスカラー妨害(文字のまわりの虹)やカラーノイズ(色のにじみ)をなくし、きめ細かで透明度の高い画像が得られます。

ビームカレントフィードバック回路

長期間安定したホワイトバランスが得られます。

2カラー方式

NTSC、PALの2つのカラー方式に自動で切り換わりします。

入力

アナログRGB/コンポーネント入力端子

ビデオ機器のアナログRGB、コンポーネント信号を入力できます。操作パネルのRGB/COMPONENTボタンを押してモニターします。

Y/C入力端子(S入力端子)

ビデオ機器などの映像信号を、輝度信号(Y)と色信号(C)の2つに分離したまま入力できます。これにより、色のにじみやちらつきの少ない、鮮明な画像が得られます。

拡張可能な入力機能

本機後面のオプションスロットに別売りの入力拡張用オプションボードを装着することで、入力系統を容易に拡張できます。入力拡張用オプションボードは1枚のみ装着できます。

外部同期信号入力端子

外部同期信号発生器などからの同期信号を入力できます。メニュー画面の「RGB設定」で「RGB/EXT」に設定すると、外部同期で動作します(14ページ参照)。

1)「トリニトロン」はソニー株式会社の登録商標です。

自動終端解放（Vマ〜ク付きの端子）

後面の入力端子は、出力端子に何も接続していないときは、内部的に75Ωで終端されています。出力端子にケーブルが接続されると、内部の終端が自動的に解放され、入力端子に入力された信号が出力端子に出力されます（ループスルー）。

機能

オートクロマ・フェーズ機能を標準装備

色の濃さ（クロマ）や色相（フェーズ）を自動調整する機能を標準装備しています。

オーバースキャンモード

画面サイズが約20パーセント拡大され、中央部分が見やすくなります。

アンダースキャンモード

通常、画面外に走査されている信号まで画面に表示し、画像全体をモニターすることができます。

ご注意

アンダースキャン時に、画面上端に赤緑青の走査線が見えますが、これは本体内部の動作によるものです。

自動 / 手動消磁機能

ブラウン管は、電源投入時に自動的に消磁されます。また、DEGAUSS ボタンを押すと手動で消磁できます。電源投入後から、自動的に消磁されるまでの時間をメニューで設定することもできます。

スクリーンメニュー機能

画面にメニューを出して、接続するシステムに最適なモニターの設定や調整をすることができます。

オプション

EIA規格の19インチラックに収納可能

別売りのマウンティングブラケット MB-502B（PVM-14L2MD用）またはスライドレール SLR-103A（PVM-20L2MD用）を使用すると、EIA19インチラックにマウントすることができます。

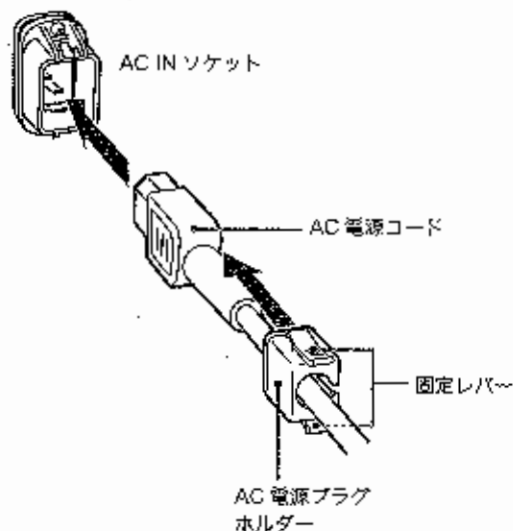
◆マウント方法についてはマウンティングブラケットまたはスライドレールの取扱説明書をご覧ください。

接続

電源コードの取り付けかた

電源コードをつなぐには

AC電源コードを後面のAC INソケットに差し込み、AC電源プラグホルダーをAC電源コードに取り付け、固定レバーがロックするまではめ込みます。

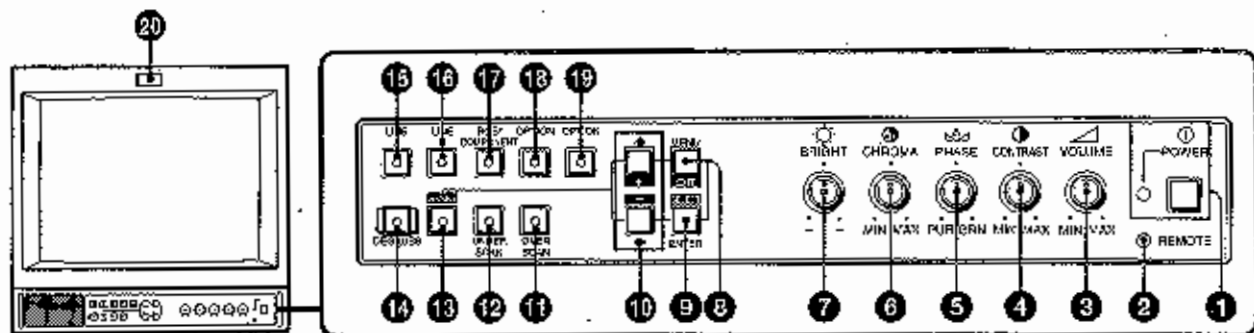


電源コードをはずすには

AC電源プラグホルダーの固定レバーを両側からはさんでロックをはずし、引き抜きます。

各部の名称と働き

操作パネル



1 POWER (電源) スイッチとインジケータ
押し込むと電源が入り、インジケータが点灯します。
もう一度押すと、電源が切れインジケータが消灯します。

2 REMOTE (リモート) インジケータ
このインジケータは、以下の場合に点灯します。
・スクリーンメニューのプリセットメニューで、ON を選択したとき。
・スクリーンメニューのリモート (RS-232C) メニューの、シリアルリモートを選び、リモートオンまたはリモート&ローカルを選択したとき。

3 VOLUME (音量) 調整つまみ

4 CONTRAST (コントラスト) 調整つまみ

5 PHASE (色相) 調整つまみ

ご注意

PAL、コンポーネントおよび RGB 信号では、色相 (フェーズ) の調整はできません。

6 CHROMA (色の濃さ) 調整つまみ

7 BRIGHT (明るさ) 調整つまみ

8 MENU/EXIT ボタン
メニューを出したり消したりするときに使います。

9 ENTER/SELECT ボタン
メニューで内容を決するときに使います。

10 ↑/+ (カーソル上方向移動 / 調整) ボタン
↓/- (カーソル下方向移動 / 調整) ボタン
メニューでカーソルを動かしたり、数値を調整したりするときに使います。

11 OVERSCAN ボタンとインジケータ
押すとオーバースキャンモードになります。画面サイズが約 20% 拡大され、中央部が見やすくなります。
もとの画面サイズに戻すときも、このボタンを押します。

12 UNDERSCAN ボタンとインジケータ
押すとアンダースキャンモードになります。
画面サイズが約 5% 縮小され、画像の四隅まで表示されます。
もとの画面サイズに戻すときも、このボタンを押します。

13 RESET ボタンとインジケータ
メニュー項目を調整中に押すと、調整が無効になり、調整前の設定値に戻ります。

14 DEGAUSS (消磁) ボタンとインジケータ
消磁したいとき、このボタンを 1 回押します。もう一度使用するときには 10 分以上間隔をおいてください。

ご注意

スクリーンメニューが表示されている状態では、DEGAUSS ボタンは効きません。
手動で消磁を行う場合は、MENU/EXIT ボタンでスクリーンメニューを消してから行ってください。

15 LINE A ボタンとインジケータ

LINE A 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

16 LINE B ボタンとインジケータ

LINE B 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

17 RGB/COMPONENT ボタンとインジケータ

RGB/COMPONENT 入力端子からの信号をモニターするときに押します。

18 OPTION 1 ボタンとインジケータ

モニター後面のオプションスロットにオプションボードが装着されているときに使用します。

オプションボードの入力1からの映像信号と OPTION AUDIO INPUT 1 からの音声信号をモニターするときに押します。

19 OPTION 2 ボタンとインジケータ

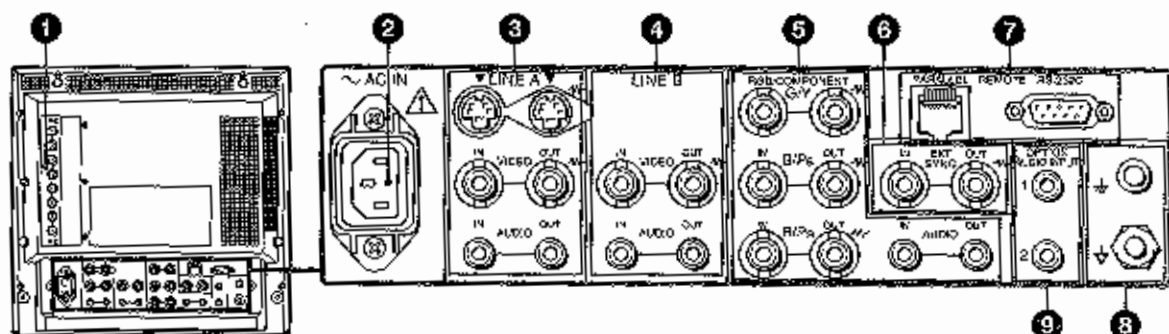
モニター後面のオプションスロットにオプションボードが装着されているときに使用します。
オプションボードの入力2からの映像信号と OPTION AUDIO INPUT 2 からの音声信号をモニターするときに押します。

20 タリーランプ

本機に接続されているカメラの映像が選ばれると、ランプが点灯します。

◆タリーランプが点灯するようにするには、タリー制御の配線が必要です。詳しくは 17 ページをご覧ください。

後面パネル



1 OPTION (オプション) スロット (BKM-129X)

別のオプションボードを使うときは、BKM-129X を取り外して装着しなおします。

RGB/COMPONENT 入出力端子・EXT SYNC (外部同期) 入出力端子

アナログ RGB またはコンポーネント (Y、PB、PR) 信号の入出力端子です。

操作パネルの OPTION 1 ボタンを押してモニターします。

音声は、OPTION AUDIO INPUT 端子に接続してください。

外部同期信号を使う場合は、メニューの「RGB 設定」の「RGB / EXT」、「COMP / EXT」で設定します。

◆オプションボードは 1 枚のみ装着できます。2 枚装着すると、機能しません。装着方法について詳しくは、オプションボードに付属の取扱説明書をご覧ください。

2 AC IN ソケット

付属の AC 電源コードをつなぎます。

3 LINE A 入出力端子

Y/C 分離入力、コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。操作パネルの LINE A ボタンを押してモニターします。Y/C 入力と VIDEO 入力を同時に接続した場合、Y/C 入力が優先となります。

Y/C IN/OUT (4 ピンミニ DIN)

Y/C 分離の入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器の Y/C 分離出力および入力端子と接続します。

VIDEO IN/OUT (BNC 型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

④ LINE B 入出力端子

コンポジットビデオ信号と音声信号のライン入力端子、およびそれぞれのループスルー端子です。操作パネルのLINE B ボタンを押してモニターします。

VIDEO IN/OUT (BNC型)

コンポジットビデオの入出力端子です。VTR やビデオカメラ、他のモニターなど、外部機器のコンポジット映像出力および入力端子と接続します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

音声の入出力端子です。VTR などの外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑤ RGB/COMPONENT 入出力端子

アナログRGBまたはコンポーネント (Y、P_B、P_R) 信号の入力端子、およびそれぞれのループスルー出力端子です。

操作パネルのRGB/COMPONENT ボタンを押してモニターします。

G/Y、B/P_B、R/P_R IN/OUT (BNC型)

アナログRGBおよびコンポーネント (Y、P_B、P_R) の入出力端子です。入力時は、通常 G/Y 信号に含まれている同期信号で動作します。

AUDIO IN/OUT (ピンジャック)

映像信号としてアナログRGBまたはコンポーネントを入力する場合に、音声信号の入出力端子として使用します。VTR など、外部機器の音声出力および入力端子と接続します。

⑥ EXT SYNC (外部同期) 入出力端子

外部同期信号を使う場合はメニュー画面の「RGB 設定」の「RGB/EXT」に設定します。

IN/OUT (BNC型)

外部同期信号の入出力端子です。IN 端子には外部同期信号発生器などからの基準信号を入力します。OUT 端子は、本機と同期して動作させる他のビデオ機器の外部同期入力端子と接続します。

⑦ REMOTE (リモート) 端子

PARALLEL REMOTE (パラレルリモート) 端子 (モジュラージャック、8ピン)

コントロールスイッチを構成してモニターを外部操作します。

◆ピン配置と出荷時の各ピンへの機能の割り付けについて詳しくは、17 ページをご覧ください。

RS-232C (シリアルリモート) 端子 (D-Sub 9ピン) 外部機器のRS-232C コントロール端子に接続します。接続された外部機器よりコントロールコマンドを送ることで、モニターの操作を行うことができます。

◆詳しくはプログラマー用インターフェース解説書 (別冊) をご覧ください。

⑧ アース (⏏/⏚) 端子

アース線をこの端子に接続します。

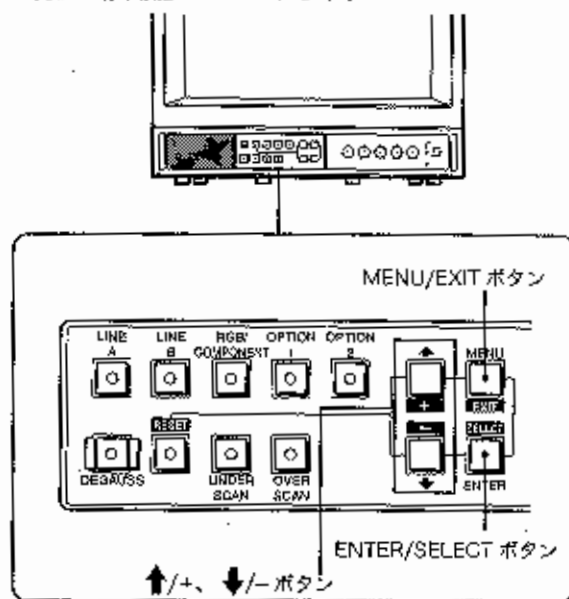
⑨ OPTION AUDIO (オプションオーディオ) INPUT 1、2 入力端子

オプションスロットにオプションボードが装着されている場合、その音声入力に使用する入力端子です。2系統まで接続することができます。OPTION AUDIO INPUT 1 または 2 入力端子から入力した音声信号をモニターする場合には、それぞれ OPTION 1 または OPTION 2 ボタンを押します。

メニュー表示言語の切り換え

メニュー画面やメッセージの表示言語を 7 言語 (ENGLISH、DEUTSCH、FRANÇAIS、ITALIANO、ESPAÑOL、日本語、中文) の中から選ぶことができます。出荷時の設定は「ENGLISH」(英語) に設定されています。

なお、メニュー画面のイラスト上の ■ マーク部分に、本機の現在の設定値が表示されます。



- 1 MENU/EXIT ボタンを押し、メニュー画面が表示されたら ↑/+、↓/- ボタンを押して (USER)

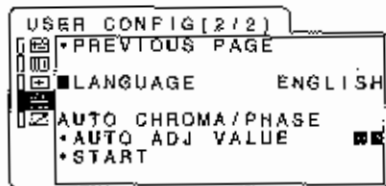
CONFIG) を選択し、ENTER/SELECT ボタンを押す。

USER CONFIG (1/2) メニューが表示されます。

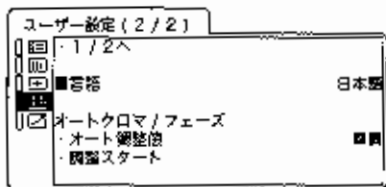


- 2 ↓/← ボタンを押して NEXT PAGE を選んで ENTER/SELECT ボタンを押すと、USER CONFIG (2/2) が表示されます。

- 3 ↑/→、↓/← ボタンを押して「LANGUAGE」を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
選んだ項目が黄色で表示されます。



- 4 ↑/→、↓/← ボタンを押して表示させたい言語を選ぶと、その言語の表記に切り換わります。ENTER/SELECT ボタンで決定します。



メニュー画面を消すには

MENU/EXIT ボタンを押す。

約1分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

メニューの操作方法

本機では、画質調整や入力信号の設定、初期設定の変更など、各種調整や設定をメニュー画面で行います。

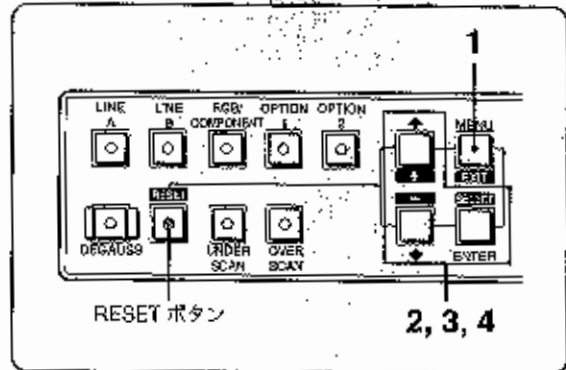
調整や設定を行う場合の操作は以下のとおりです。

- ◆メニュー項目について詳しくは「メニューを使った調整」(13 ページ)をご覧ください。

メニュー画面表示の言語を切り換えることもできます。

- ◆表示言語を変えるには、「メニュー表示言語の切り換え」(11 ページ)をご覧ください。

なお、メニュー画面のイラスト上の■マーク部分に、本機の現在の設定値が表示されます。



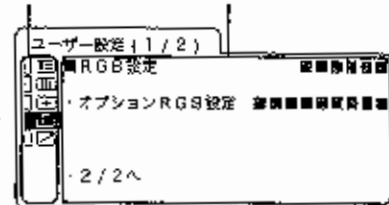
- 1 MENU/EXIT ボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。
現在選択されているメニューが黄色いカーソルで表示されます。

カーソル



- 2 ↑/→、↓/← ボタンを押してメニューを選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
選んだメニューのアイコンが黄色で表示され、設定項目が表示されます。

メニュー 設定項目



- 3 ↑/→、↓/← ボタンを押して設定項目を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。
変更する項目が黄色で表示されます。

4 設定項目の調整や設定をする。

数値を変更する項目の場合：

数値を大きくするときは、↑/+ ボタンを押す。

数値を小さくするときは、↓/- ボタンを押す。

ENTER/SELECT ボタンを押すと確定され、元の画面に戻ります。

設定を選ぶ場合：

↑/+、↓/- ボタンを押して設定を選び、ENTER/SELECT ボタンを押す。

ご注意

設定項目で青色表示の項目はアクセスできない状態を意味します。白色表示に変わるとアクセスが可能になります。

メニュー画面を消すには

MENU/EXIT ボタンを押す。

約 1 分間操作をしないとメニューは自動的に消えます。

設定値の記憶について

設定値は自動的に本体に記憶されます。

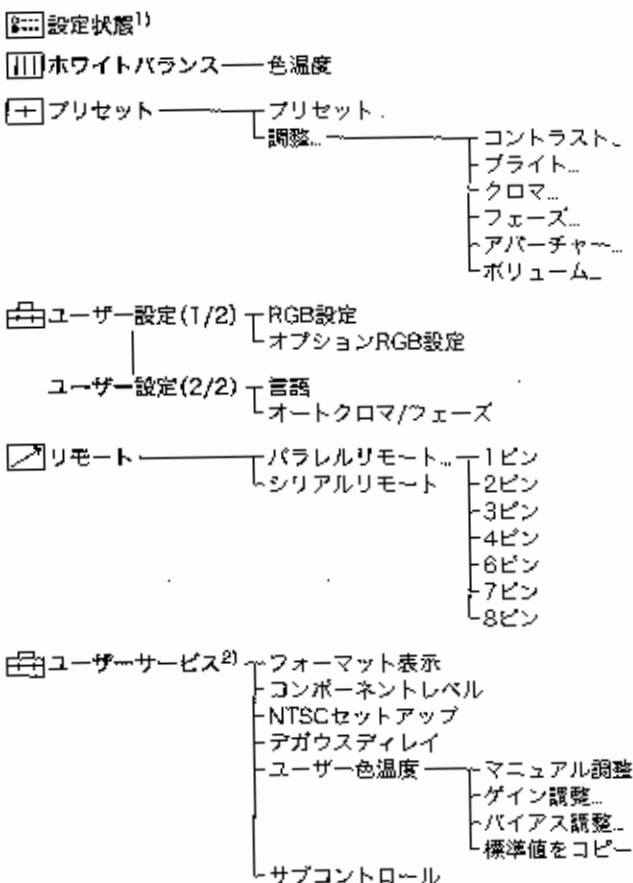
設定値をリセットする

メニュー内の項目を調整中に RESET ボタンを押すと調整は無効になり、調整前の値に戻ります。

メニューを使った調整

項目一覧

本機のスクリーンメニューは次のような構成になっています。



1) 設定状態メニューは表示のみ。

2) ユーザーサービスメニューへの入りかたについて詳しくは、15 ページをご覧ください。

調整と設定

設定状態メニュー

本機の現在の設定状況を表示します。表示される項目は以下のとおりです。

サブメニュー	設定
番号フォーマット	表示のみ
色温度	表示のみ
コンポーネントレベル	表示のみ
NTSC セットアップ	表示のみ
RGB/COMP 切換	表示のみ
オプション	表示のみ

III ホワイトバランスメニュー

画質のホワイトバランスを調整するメニューです。ホワイトバランスの調整には測定器が必要です。

サブメニュー	設定
色温度	色温度を「D65」、「D56」、「D93」、「ユーザー設定」から設定します。ユーザー設定は異なる色温度に調節することができます(色温度の調節には測定器が必要です)。

ご注意

- ・ユーザー設定の色温度は、5000K～10000Kの範囲で設定できます。
- ・D93は、内視鏡等の用途に適していません。
- ・D56は、生物顕微鏡等の用途に適しています。
- ・ユーザー設定の調整は、ユーザーサービス設定のユーザー色温度メニューで行います。
- ◆詳しくは、16ページのユーザーサービスメニューをご覧ください。

IV プリセットメニュー

画質を調整するメニューです。入力信号によって調整できない項目は青色で表示されます。

サブメニュー	設定
プリセット	オンを選択すると操作パネルのすべてのつまみが動かなくなり (REMOTEインジケータ点灯)、モニターは内部に記憶されたプリセット (初期設定) 値で動きます。
調整...	<ul style="list-style-type: none">・「コントラスト...」: コントラストを調整します。・「ブライト...」: 明るさを調整します。・「クロマ...」: 色の濃さを調整します。設定値が大きくなると濃くなり、小さくなると薄くなります。・「フェーズ...」: 色相 (フェーズ) を調整します。設定値が大きくなると緑がかり、小さくなると紫がかります。・「アパーチャ...」: シャープネスを調整します。設定値が大きくなるとくっきりします。・「ボリューム...」: 音量を調整します。

V ユーザー設定 (1/2、2/2) メニュー

言語の選択や、RGBとコンポーネントの切り換えなどを設定します。

サブメニュー	設定
RGB設定 (1/2)	RGB/COMPONENT入力端子からの信号をモニターするときに、入力する信号に応じて「RGB/INT」、「RGB/EXT」、「COMP/INT」または「COMP/EXT」を選択します。
オプションRGB設定 (1/2)	オプションスロットに入れたオプションボードによって表示が異なります。詳しくはオプション設定をご覧ください。
言語 (2/2)	メニューやメッセージの表示言語を以下の7言語から選択できます。 「中文」: 中国語 「ENGLISH」: 英語 「DEUTSCH」: ドイツ語 「FRANÇAIS」: フランス語 「ITALIANO」: イタリア語 「ESPAÑOL」: スペイン語 「日本語」
オートクロマ/フェーズ (2/2)	色の濃さ (クロマ) と色相 (フェーズ) を調整します。 <ul style="list-style-type: none">・オン: オンに設定するとクロマとフェーズの値が自動調整値になります。・オフ: オフに設定するとクロマとフェーズの値が工場出荷値になります。

VI リモートメニュー

サブメニュー	設定
パラレルリモート...	PARALLEL REMOTE端子で機能を変更したいピンを選択します。 1～4、6～8ピンに各機能を割り付けられます。割り付け可能な機能は以下のとおりです。 ・— (機能の割り付けなし) ・LINE A ・LINE B ・RGB/COMP ・OPTION 1 ・OPTION 2 ・タリ ・アングースキャン ・オーバースキャン ・デガウス

ご注意

パラレルリモートを使用する場合は、配線が必要です。

- ◆詳しくは17ページをご覧ください。

サブメニュー	設定
シリアルリモート	以下の3種類の中から、使用するモードを選択します。 リモートオフ： 各種の設定を、操作パネルのボタンと調整つまみで行うとき。 リモートコントローラーは使用できません。 リモートオン： 各種の設定をRS-232Cでコントロールするとき。 メニュー操作ボタンを除いて、操作パネル上での操作はできません。 リモート&ローカル： 操作パネルのボタン、および、RS-232Cでコントロールするとき。 操作パネルの調整つまみは使用できません。

⊞ ユーザーサービスメニュー

上記以外の調整・設定を行うためのユーザーサービスがあります。

ユーザーサービスへの入り方は、MENU/EXIT ボタンを押してメニューが表示されている状態のまま下のユーザーサービスメニューが表示されるまで押し続けてください。

サブメニュー	設定
フォーマット表示	入力信号のフォーマットを画面に表示させるかどうかを設定します。 「オン」：常に表示 「オート」：信号入力開始後約10秒間だけ表示 「オフ」：常に非表示
コンポーネントレベル	以下の3種類の中から、入力されているコンポーネント信号の種類を選択します。 「SMPTE」：100/0/100/0のコンポーネント信号のとき 「BETA 7.5」：100/7.5/75/7.5のコンポーネント信号のとき 「BETA 0」：100/0/75/0のコンポーネント信号のとき
NTSC セットアップ	NTSC 信号のセットアップのレベルを選択します。日本では0で、アメリカでは7.5で運用されています。このため輸入ソフトには7.5のものがあります。
デガウスディレイ	電源を入れてから自動消磁機能が働くまでの秒数を、0から99秒の間で設定できます。

サブメニュー	設定
ユーザー色温度	このメニューで調整した値は、14ページの色温度メニューでユーザー設定を選択したときに働きます。 ゲイン調整： ユーザー設定のカラーバランス（ゲイン）を調整します。 バイアス調整： ユーザー設定のカラーバランス（バイアス）を調整します。 標準値をコピー： ユーザー設定の色温度をD65、D56、D93に設定します。
サブコントロール	全面パネルのCONTRAST、PHASE、CHROMA、BRIGHT調整つまみの調整範囲を微調整します。これらのつまみは調整範囲のまん中にクリックがありますので、クリック位置での微調整に使用できます。

故障かな？と思ったら

お買い上げ店などにご相談いただく前に、次の事項をご確認ください。

- ・画面が緑色や紫色になる → 入力ボタンを押して、正しい入力を選んでください。
- ・RGB/COMPONENT 入力端子に入力している信号が表示されない → ユーザー設定メニューを入力中の信号に合わせて設定してください。

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取りください。
- ・所定事項の記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

主な仕様

一般

PVM-14L2MD

CRT: トリニトロン (P22 蛍光体)
電源: AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電流/電力: 最大 85 W 0.9 ~ 0.4 A (別売りの BKM-150CP 装着時)
標準 75 W 0.8 ~ 0.35 A (オプションボードなしの場合)

最大外形寸法 (幅/高さ/奥行き): 約 346 × 340 × 430 mm
質量: 約 18.0 kg

PVM-20L2MD

CRT: トリニトロン (P22 蛍光体)
電源: AC100 ~ 240 V、50/60 Hz
消費電流/電力: 最大 108 W 1.1 ~ 0.5 A (別売りの BKM-150CP 装着時)
標準 98 W 1.0 ~ 0.4 A (オプションボードなしの場合)

最大外形寸法 (幅/高さ/奥行き): 約 450 × 457 × 529 mm
質量: 約 33.0 kg

入出力

入力

LINE A 入力端子
Y/C 入力 4 ピンミニ DIN (1)

VIDEO 入力 BNC 型 (1) 1 Vp-p + 3 dB
- 6 dB 負同期
AUDIO 入力 ピンジャック (1) ~ 5 dBu 47 kΩ
以上

LINE B 入力端子

VIDEO 入力 BNC 型 (1) 1 Vp-p + 3 dB
- 6 dB 負同期
AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu 47 kΩ
以上

RGB/コンポーネント入力端子 BNC 型 (3)

RGB 入力 0.7 Vp-p + 3 dB - 6 dB (Sync On Green 0.3 Vp-p 負同期)
コンポーネント入力
0.7 Vp-p + 3 dB - 6 dB (75% クロミナンス標準カラーバー信号時)
AUDIO 入力 ピンジャック (1) - 5 dBu
47 kΩ 以上

外部同期入力端子

BNC 型 (1) 0.3 ~ 8 Vp-p 正負両極性 3 値または負極性 2 値

オプション AUDIO 入力端子

ピンジャック (2)
~ 5 dBu 47 kΩ 以上

リモート入力

パラレルリモート
モジュラーコネクタ 8 ピン (1)

出力

LINE A 出力端子

Y/C 出力 4 ピンミニ DIN (1) ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き

VIDEO 出力 BNC 型 (1) ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

LINE B 出力端子

VIDEO 出力 BNC 型 (1) ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

RGB/コンポーネント出力端子

RGB/コンポーネント出力
BNC 型 (3) ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き

AUDIO 出力 ピンジャック (1) ループスルー

外部同期出力端子

BNC 型 (1) ループスルー、75 Ω 自動終端機能付き

内蔵スピーカー出力

0.8 W (モノラル)

映像信号系

周波数特性 50 Hz ~ 10 MHz (0 dB/ - 3 dB)
アパーチャ補正量¹⁾
OFF: 0 dB
ON: 2 ~ 6 dB

画像系

ノーマルスキャン
CRT有効画面の7% オーバースキャン
アンダースキャン
CRT有効画面の5% アンダースキャン
オーバースキャン
CRT有効画面の20% オーバースキャン
直線性 PVM-14L2MD
H: 4% 以下
V: 4% 以下
PVM-20L2MD
H: 5% 以下
V: 5% 以下
色温度 D65、D56、D93、ユーザー設定 (調整可能色温度 5000 K ~ 10000 K)
コンバージェンスエラー

PVM-14L2MD
中心部: 0.4 mm 以下
周辺部: 0.5 mm 以下
PVM-20L2MD
中心部: 0.5 mm 以下
周辺部: 0.7 mm 以下

ラスターサイズ安定度
H: 1.0%
V: 1.0%
解像度 (中心部) 600TV本

動作条件

温度 0 ~ 40 °C
湿度 30 ~ 85% 以下 (結露のないこと)
気圧 700 ~ 1060 hPa

保存・輸送条件

温度 - 10 ~ 40 °C
湿度 0 ~ 90%
気圧 700 ~ 1060 hPa

付属品

AC電源コード (1)
ACプラグホルダー (1)
取扱説明書 (1)
保証冊子 (1)

1) RGB入力時はアパーチャの補正は行えません。

本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。

本機は業務用トリニトロンカラービデオモニターです。
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

ピン配列

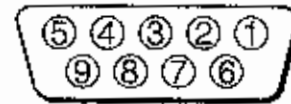
PARALLEL REMOTE 端子
モジュラーコネクタ (8ピン)



ピン番号	機能
1	入力信号 LINE A を指定
2	入力信号 LINE B を指定
3	入力信号 RGB / COMP を指定
4	入力信号 オプション 1 を指定
5	GND
6	タリールランプのオンオフ
7	アンダースキャンの選択
8	オーバースキャンの選択

機能割り付けは、リモートメニューで変更できます。

RS-232C 端子 (D SUB 9ピン)



ピン番号	信号
1	NC
2	受信データ
3	送信データ
4	NC
5	GND
6	NC
7	送信要求
8	送信可
9	NC

リモートコントロールを使用するための配線
リモートコントロールで使用したい機能をアース (5ピン) に接続します。